

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 ごぼんはうさくら 北上尾教室

保護者等数(児童数) 47名 回収数 37件(割合78%)

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	0	0	3	人数が多い日には分かれて活動しているとの報告を受けており、適切に考えられて確保されていると感じます。	放デイの中でもグループを分けての活動など、十分なスペースがとれるようこれからも工夫をしていきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	2	0	5	日によって利用人数が変わるかと思いますが 子供達の事をよく見てくれているので適切かと思う。	活動の内容によっては基準以上の配置をできるように努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	2	1	1	掲示物等工夫されていると思います。	お名前プレートや給カードなどで視覚的にわかりやすくしています。また、必要に応じて手すりなどバリアフリー化に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	0	0	3	お部屋は綺麗だと聞いています	これから日々の掃除、消毒に努めていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2	0	3	子どもの特性によって落ち着いて話せる空間を設けたり、時間をおいたりなど配慮していただいています。	研修などで研鑽し、より専門的な知識を取り入れていきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	2	合っていると思います。	やむない事情で変更する場合は、事前に該当の保護者様にご連絡させていただくよう努めています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	1	0	1	こちらの相談内容等を盛り込んだ内容で作成して下さっています	モニタリングでの聞き取りやご利用者様の日々のご様子からニーズや課題をより的確に見極めていきたいと思っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	4	放課後等デイサービスの提供すべき支援の内容が分かりません。	保護者様のニーズに応じて、提供すべき支援の内容や制度についての情報提供ができるよう努めていきたいと思っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1	0	2	勉強のプリントやプレイルームでの活動など沿った内容でされている。	パートの職員も含め個別支援計画を意識しながら支援をしていけるよう努めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1	0	1	プログラムが多く、毎月楽しみに予定表をみております。	プログラムを通して季節を感じたり、社会のルールを学んだり様々な経験ができるよう心がけていきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	7	3	21	あまり交流会などに参加したがりません。	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	1	しっかりと説明していただきました。	これからも丁寧なご説明を心がけていきたいと思っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	1	示しながら説明していただきました。	これからも丁寧なご説明を心がけていきたいと思っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	3	21	開催されているのか不明	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36	0	0	1	送迎時やモニタリングの際に話をすることができており、共通理解につながっていると思う。	引き渡し時の申し送りやライン、連絡帳などで保護者様との情報共有を行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	0	1	2	定期的に面談があり、お話しすることができています。	保護者様のお困りごとがあれば都度、面談や電話などで支援していきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	0	1	子どもの話す事などを否定せずしっかりと聞いてくれている。	ご利用者様や保護者様の気持ちや状況に寄り添った支援ができるようごころがけていきたいと思っています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	8	18	今後実施されたら参加したいです	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	0	0	5	相談や申し入れ先については説明がありました。LINEでの相談ごとにもすぐに返信があります。	相談や申し入れについては、職員間で迅速に共有、対応ができるよう努めてまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	0		保護者様へ正しく情報伝達できるようにラインや連絡帳を活用してまいります。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	1	0	LINE等で知ることができている	SNSや毎月のごはん通信、ラインなどで活動や月間行事予定を発信していきます。自己評価の結果はホームページで掲載していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1	0	2	SNSやホームページなど顔を隠していただく	個人情報のファイルは鍵付き書庫で管理し、写真掲載に関しては必ずご意向をお伺いするように配慮に努めていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	8	マニュアルの中身までは知らないのだからとしました	マニュアルの内容も含め、周知・説明に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	2	0	5	毎月のプログラムなどに含まれているので安心している	これからも毎月プログラムに避難訓練を組み入れ、実施していきます。また職員間でもBCPの確認を行っていきたく思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	6	安全確保は十分にできていると思う。計画についてといわれるとわからないので、わからないとしました。	事故なく安全に過ごせるよう努めるとともに、安全計画の周知に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	8	怪我をしたとき、丁寧に説明がありました。	事故が発生したときに迅速、かつ的確に対応ができるよう、職員間での流れの確認を定期的に行っていきたく思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	4	0	1	苦手な子がいるときなどは嫌がる	苦手な相手への接し方のSSTも含め支援できるよう努めるとともに、ご利用者様が不安にならない環境を提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	1	0	5	曜日を確認して(母に聞いてきます)こばんさんだと分かるよとヨッシャーっていつも喜んでます。	毎回楽しく療育に参加できるよう工夫をしていきたく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	0	1	0	いつも楽しく通わせていただいています。安心して楽しい療育を行なって下さりありがとうございます。	研修などで研鑽し、より良い支援を行えるように努めていきたく思います。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 北上尾教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	人数が多い中で、玩具が沢山あると、狭いと感じるため玩具を指定するなど工夫している	プログラムによってはブレイルームを使用したりして、より伸び伸びとスペースを活用できるように努めていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	2	基準満たした配置、利用児童によっては基準以上の配置をするなど配慮している	土日に職員の手が足りないことがあるため、均等に配置調整できるように努めていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	必要に応じて絵カードや文字カードなどを使用して視覚補助をしている	必要に応じたバリアフリー設備を整えていきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	ご利用者様の身長や特性に合わせて座卓とテーブルを設置している	おもちゃがわかりやすい位置に配置できるよう工夫したい
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	廊下や相談室でクールダウンできている	ご利用者様を個別の部屋で対応する場合に職員が一人つくため、支援が手薄にならないよう流れの確認などをしていきたい
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3	情報共有をこまめにするようにしている	出勤日数の少ないパートさんも広く参画できるように工夫していきたい
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	朝礼等で共有されている	出勤頻度の少ないパートさんも含め広く業務改善についての意見を出せるよう工夫していきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	月に一度のミーティングで意見を交換している	職員が意見を積極的に出せる環境づくりに努めていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6		必要に応じて外部評価を行ってきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	3	定期的に研修が行われている	外部の研修を受講する機会をもっと設けていきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	2	見やすく分かりやすい説明文を心がけている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	2	アセスメントシートを作成している	ご利用者様が楽しみながらそれぞれの課題にチャレンジ出来る計画作成に努めていく
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの行動観察に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	2	作成時にカンファレンスを行っている	出勤頻度の少ない職員も意見を積極的に出せる環境づくりに努めていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	ミーティングで共有し、計画に基づいて支援を行っている	支援内容がより綿密に共有できるよう工夫していきたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	サービス提供記録や業務日報などで振り返り確認している	こぼんはうすの標準化されたツールを使用しているが、今後より良いツールがあれば追加していきたい
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2	必要に応じて保護者様に説明、同意を得た上で設定している	移行支援や地域支援は行えていないため、必要に応じて行っていきたい
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	担当が基盤を考え、振り分け等、細かい調整を全員でやっている	出勤頻度の少ない職員からの案も幅広く反映していきたい
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	制作やお料理などプログラムは同じでも内容が違う。また同じ曜日に同じことが重ならないよう組まれている	様々な経験や支援につながるプログラム立案に努めていく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	3	集団活動の中でも専門的支援計画を作成して個別の支援をしている	個別の支援がよりスモールステップでできるよう専門的支援計画を増やしていく
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	朝礼等で必ず昨日の様子と本日の流れを全体で確認している	10時以降の出勤のパートさんは朝礼に出られないため、朝礼での打ち合わせの共有の仕方を工夫していきたい
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	5	必ずではないが何かあれば情報共有をして次回の支援に繋げている	その日にいなかった職員への共有に抜けがないよう工夫していく
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	業務日報と連絡帳を必ず書いている	多くの職員が記録を活用できるよう工夫していきたい

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	モニタリングの時期よりも余裕を持って保護者様にお声かけをし、円滑にモニタリングの日程を組めるようにしている	研修などで研鑽し、より正しく見直しの必要性を判断していけるよう努めていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11	2	活動に偏りがないプログラム作成を心がけている	地域交流活動があまりできていないため、保護者様やご利用者様のニーズに応じて企画していきたい
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	自分で選択できるよう、声かけや選択肢などで工夫している	自己選択できる場面をつくる支援を積極的に作っていくよう努める
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	スケジュールが合えば放デイの児発管と直接支援している職員2人で担当者会議に参加している	会議前により多くの職員からご利用者様の状況をより詳しく聞き取ることができるよう工夫していきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	地域の障害福祉や教育センターなど関係機関と必要に応じて連携している	必要に応じて医療等との連携支援もしていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	学校便りを職員室に掲示している	より学校と情報共有ができるよう努めていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	児発から持ち上がりのご利用者様については情報共有がされている	放デイからご利用のご利用者様についても必要に応じて情報共有に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	4		まだ事例がないが、移行する場合は情報提供に努めていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	3	つくし学園との連携をとっている	支援センターの開催する研修等を受ける機会を設けていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	8	地域の公園や児童館などは行っている	保護者様やご利用者様のニーズに応じて企画していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	8	協議会主催の説明会などには参加している	積極的な参加ができるよう努めていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	日々の送迎などで保護者の方とコミュニケーションをとり共通理解を図っている	より共通理解を深められるよう努めていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5	具体的な支援方法などを送迎時にお伝えするよう工夫している	保護者様のニーズに応じて家族支援プログラムを企画するとともに保護者様向けの研修や情報提供ができるよう努めていく
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	契約時に説明をしている。その他質問があれば適宜お伝えしている。	内容の説明の他に掲示している場所の周知を行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	モニタリング等保護者の方と話し合う場の方針を決めていき、子どもの発達段階や課題に合わせた内容で作成している	よりご利用者様やご家族の意向が反映できるよう努めていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	必ず確認してもらい、同意を得ている。	より詳しく支援内容をお伝えすることができるよう努めていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	悩んでいるご家族には個別で面談のお声がけをしている	より相談しやすい雰囲気づくりに努めていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	7	今年の運動会では保護者交流もすることができていた	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	苦情と対応は職員全体へLINEで共有し、全員が周知できるよう心掛けている	相談や申し入れの共有に漏れないよう工夫していきたい
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	こぼん通信やSNSなどで活動の様子を発信したり、毎月月間プログラムをLINEで送付している	より多くの情報を発信できるよう努めていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個別ファイルにまとめて、鍵付き書庫にしまっている	定期的に取り扱い方法や取り扱い内容の確認をしていきたい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	子どもに対して視覚支援をしたり、より伝わりやすい方法を準備したりと配慮している	より円滑な意思の疎通ができるよう努めていく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	8		保護者様やご利用者様のニーズに応じて企画していきたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	定期的に訓練や研修をしている	定期的なマニュアルの内容の確認に努める

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	避難訓練や防犯訓練を通して緊急時対応を学んでいる	定期的なBCPの内容の確認に努める
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	症状を持っている利用者を一覧化して把握している	薬が変わったなどの情報更新も含め全職員が迅速に把握できるよう努めていく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	強い食物アレルギーのある利用者は、個人でおやつを持ってきてもらっている	情報の更新があった場合に全職員が迅速に把握できるよう努めていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	定期的に安全について、研修や点検が行われている	定期的な安全計画の内容の確認に努めていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	2	こぼし通信などで周知している	安全計画全体についても広く周知していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	ヒヤリハットがあった際は職員間の情報共有と書類に記入して再発防止に努めている	ヒヤリハットとしてあがっていないものがないかの確認をしていきたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	年1回以上の研修を行なっている	研修等で研鑽し、防止に努めていく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	やむを得ない場合の同意書を買っているが身体拘束しないような支援を行う努力をしている	研修等で研鑽し、身体拘束以外の取りうる手段を増やしていくよう努める